

# 学会誌投稿規程

平成 24 年 1 月 1 日制定  
平成 24 年 6 月 7 日改定  
平成 25 年 6 月 13 日改定

## 1. 投稿内容

農産物・食品の様々な意味を含む「美味しさ」に関連する技術についての論文、論説、解説、資料、新刊紹介、会員の声、会員紹介等とする。

## 2. 投稿資格

投稿原稿の筆頭著者と責任著者（コレスポンディング・オーサー）は、会則第 11 条に規定する会員に限る。但し編集委員から依頼する原稿については、この限りではない。

## 3. 原稿種類

種 類	頁 数	内 容
① 論 文	6 頁以内	農産物・食品の美味しさに関連して、実際問題とのつながりがある研究でオリジナリティ及び学術的価値があるもの、実用技術上重要で著者のオリジナリティのデータをもとに論述したものとする。
② 論 説	4 頁以内	技術的研究テーマ以外の内容を、著者のオリジナリティに基づいて論述したものとする。
③ 解 説	4 頁以内	社会、経済、科学技術をはじめ、美味しさ技術に関する課題について平易に解説したものとする。
④ 資 料	4 頁以内	研究上あるいは美味技術に関して有意義な情報を著者がオリジナルにまとめたものとする。
⑤ 新刊文献 紹介	1 頁以内	美味、美味技術に関して実用上、研究上など有意義であると思われる文献を紹介したものとする。
⑥ 会員の声	1 頁以内	研究上の問題や研究会活動のあり方などに関する会員の意見を述べる場、討論する場として発表したものとする。
⑦ 会員紹介	1 頁以内	法人会員は会社の概要、技術及び製品等の紹介をしていただく場であり、大学や研究機関等の正会員は研究室の概要、研究課題等の紹介する場であり、それらを情報として発表したものとする。
⑧ そ の 他	1 頁以内	①～⑦に当てはまらない原稿。ただし、会の趣旨に沿った原稿なら受けける。

4. 投稿論文は、編集委員会が選んだ複数の査読者によって審査される。また、投稿原稿の修正、加筆ならびに採否は、最終的に編集委員会で決定する。

## 5. 原稿の送付方法

原稿は E-mail または郵送により送付する。

- 原稿には送り状をつける。送り状には代表投稿者（連絡の窓口となる著者）の氏名・住所・電話番号・FAX・E-mail Address および原稿種類、標題、キーワード、著者名、図表枚数、別刷希望数を 1 ページ内に記入し添付すること。
- 原稿は学会誌原稿作成要綱にしたがって作成したデジタルデータ（ワード、一太郎等）とする。郵送の場合は FD または CD を使用する。

## 6. 原稿送付先

〒739-8602 広島県東広島市西条西本町 2-30

美味技術学会 事務局 Tel/Fax : 082-424-5364, e-mail : bimi@nifty.com

7. 本誌に掲載された記事の著作権は美味技術学会に帰属する。

8. 掲載された論文の著者は、掲載料として 10,000 円を負担する。

9. 別刷りが必要な場合は、別途実費を支払う。

# 学会誌原稿作成要綱

## 1. 言語

日本語とする。

## 2. 記述項目

表題，著者名，キーワード（5語以内），要旨（論文のみ記載：200字程度），所属機関名，本文，引用文献の順とする。なお，論文については，英文の表題，著者名，所属機関名，及びアブストラクトを入れるのが望ましい。ただし，英文の表題，アブストラクトについては，英文添削を受けて添削済みの証明書を添付すること（添削はネイティブスピーカーあるいはこれに準ずる者または理科系科学論文を扱う英文添削を業とするものに依頼したものとする）。図表タイトルについては，別紙に一覧を記載すること。投稿原稿のうち，論文には責任著者（Corresponding author）を指定することができる。責任著者は正会員に限る。責任著者は著者名の右肩に付けた記号の後ろに「†」を付し，脚注にその旨を明記したうえで，メールアドレスがあれば記載する。用語としては，和文の論文の場合には「責任著者」あるいは「Corresponding author」を，英文の論文の場合には「Corresponding author」を使用する。

## 3. 用紙，文字数

A4版用紙を縦長に用い，約48字×35行とし横書きに印字する。余白は上下左右とも25mmとする。

## 4. 文字サイズ

表題－14ポイント

著者名－12ポイント

図表タイトル，キーワード，本文，引用文献－9ポイント

## 5. 文字フォント

表題，著者名，キーワード，本文等については明朝体を使用し，章・節のタイトル・図表タイトルのみゴシック体とする。英数フォントは，日本語と同じ明朝体とする。

## 6. 数量の単位

原則としてSI単位を使用する。

## 7. 句読点

読点は全角カンマ「，」，句点は「。」を使用する。

## 8. 図表および写真

図表および写真の幅は，通常8cm，大きい場合は16cm程度で，そのまま印刷できるデジタルデータとすることが望ましい。本文とは別ファイルとなっても構わない。本文中に図表の挿入位置を指定すること。デジタル化できない場合は，鮮明に印刷された紙媒体のデータを送付する。その際，1つの図表に対して1様を使用し，余白に著者名，図番，図タイトル等を記入する。図タイトルは図の下側，表タイトルは表の上側に記入する。

## 9. 引用文献等の記載例

### 例1（雑誌の記載例）

美味花子，美味太郎：胚芽米の胚芽部分の大きさ測定，美味技術学会誌，11(2)，19-27，2012.

### 例2（単行本の記載例）

美味花子，美味太郎：研米・無洗米研究の実際一顔の見える新技術一，美味技術学会（広島），25，2002.

美味花子，美味太郎：パン生地 of 熟成と生地改良，「製パンプロセスの科学」，学会二郎，美味堂（東京），96-100，1991.

### 例3（特許の記載例）

美味花子：軟質密封容器のシール不良検出装置，日本国特許庁，特開平10-104113，1998. 4. 24.

※英数字は半角，カンマ・ピリオドは全角。

※送付された原稿は，事務局で2段組の体裁に編集しなおしますので，図表のレイアウトは多少変更があります。予めご了承ください。